

担当教官: 青山 亨(あおやま とおる). 東京外国語大学外国語学部インドネシア語  
 研究室:633. オフィスアワー:月曜日2限. 電話:042-330-5300. メール:taoyama@tufs.ac.jp  
 ウェブサイト:http://www.tufs.ac.jp/ts/personal/aoyama/  
 授業のお知らせ:http://www.tufs.ac.jp/blog/ts/g/aoyama/



授業科目	アジア文化論 II 講義(専修専門・総合文化コース6072)
授業題目	東南アジア古典文化論(1)(6071)の続き。
対象学年	3年生(2年生も可)
開講学期	2学期
曜日・時限	木曜・4限
教室	115
共通科目など	地域専門科目・東南アジア課程(3525)および専修専門科目・地域国際コース(7224)と共通。多摩地区国立5大学単位互換制度開校科目。市民聴講生受け入れ。
授業の目標	東南アジアの古典文化は、土着の精霊信仰・祖先崇拝の基層のうえに、ヒンドゥー・大乘仏教をもたらしたインド文明の影響を強く受けている。この講義では、インドネシアのジャワの例を中心に扱いつつも、東南アジアの古典文化を概観し、現代社会にも力強く生きているこの「古典的文化」の特徴を学ぶ。
教材・参考書等	適宜プリントを配付する。参考書は授業中に指示する。
成績評価の方法	出席(30%)とレポート(70%)で評価する。
受講上の注意	「インドネシア文化論」演習を受講する者はこの講義を履修しておくことが望ましい。提出された課題・レポートなどは原則として返却せず、評価終了後に破棄する。

### 1. 授業のねらい(上記の目標を参照)

### 2. 授業の内容・計画

主として以下の事項について概説する。東南アジア古典文化に関連したビデオ教材も適宜使用する。

#### ■1学期の授業計画■

東南アジア古典文化の伝播の背景と条件を検討する。

#### 1) 導入

・東南アジア古典文化とは何か ・東南アジアの歴史の仕組み

#### 2) 基層文化としての精霊信仰

#### 3) インド文化の東漸

・「長い助走期間」と「爆発的な東漸」 ・初期王権の成立

#### 4) 大乘仏教の伝播

・インドという土壌に育った宗教:バラモン教、仏教、ヒンドゥー教 ・ボロブドゥール寺院

#### 5) ヒンドゥー教の伝播

・プランバナン寺院 ・アンコールワット寺院

#### 6) インド化を考える

#### ■2学期の授業計画■

物語の形式と内容を通じて東南アジア古典文化を考える。

#### 1) 導入:オリエンテーション

#### 2) インド的世界観と歴史観

#### 3) 神々の時代:乳海攪拌など

・アンコールワット寺院

#### 4) 英雄対魔物:ラーマーヤナ

・プランバナン寺院、ラーマキエン、スンドラタリ

#### 5) バラタ族の決戦:マハーバーラタ

・映画版マハーバーラタ、ワヤン

#### 6) ブッダの生涯とジャータカ

・ビルマ語写本、ボロブドゥール寺院、ジャータカ

### 参考図書1: 東南アジアについての概要を知るためのもの

1. 石井米雄ほか編. 1986. 『東南アジアを知る事典』平凡社. 東南アジアについて効率よく調べるために便利な事典. 同シリーズの『南アジアを知る事典』も有益.
2. 事典シリーズ. 同朋出版社. インドネシア, タイ, フィリピン, ベトナムの4か国の事典が出ている.
3. 京都大学東南アジア研究センター編. 1997. 『事典東南アジア—風土・生態・環境』弘文堂. 2ページ見開きで東南アジアに関する主要な事項を解説した読む事典.
4. もっと知りたい東南アジアシリーズ. 弘文堂. 東南アジアの各国編が出ている.
5. 暮らしがわかるアジア読本シリーズ. 河出書房新社. インドネシア, ヴェトナム, タイ, マレーシア, ビルマ, フィリピン各国編が出ている. 生活に密着したテーマで構成された各国案内.
6. ○○を知るための50章シリーズ(国によっては50章でない場合もある). 明石書店. 東南アジアの各国編が出ている.
7. 歴史教育者協議会編. 1995. 『シリーズ知っておきたい東南アジア』1と2巻および『シリーズ知っておきたいフィリピンと太平洋』青木書店. 高校生を対象にした読みやすい概論.
8. 石井米雄・桜井由躬雄編. 1999. 『東南アジア史 I 大陸部』山川出版社. 最新の東南アジア大陸部の通史.
9. 池端雪浦編. 1999. 『東南アジア史 II 島嶼部』山川出版社. 最新の東南アジア島嶼部の通史.
10. 石澤良昭. 2009. 『東南アジア 多文明世界の発見』(興亡の世界史)中央公論社. アンコール朝を中心にたどる東南アジア史.
11. 東南アジア史学会ウェブサイト東南アジア関連リンク集も便利である.  
<http://wwwsoc.nii.ac.jp/jssah/link.html>

### 参考図書2: 講義の主題全体に関わるもの

- 青山 亨. 1994. 「叙事詩, 年代記, 予言: 古典ジャワ文学にみられる伝統的歴史観」. 『東南アジア研究』32巻1号. pp.34-65.
- . 1998. 「インドネシアにおけるラーマ物語の受容と伝承」金子量重ほか編『ラーマヤナの宇宙』春秋社. pp.140-163.
- . 2007. 「インド化再考—東南アジアとインド文明との対話—」『総合文化研究』10: 122-143.
- 上村勝彦. 2003. 『インド神話—マハーバーラタの神々』(筑摩学芸文庫)筑摩書房.
- 田枝幹宏・伊東照司. 1992. 『ポロブドゥール遺跡めぐり』(とんぼの本)新潮社.
- Heine-Geldern, Robert. 1956. *Conceptions of State and Kingship in Southeast Asia* (Data Paper 18), Cornell University.
- ハイネ＝ゲルデルン、ロベルト. 1972. 「東南アジアにおける国家と王権の観念」(大林太良訳)大林太良編『神話・社会・世界観』角川書店.」
- 長谷川 明. 1987. 『インド神話入門』(とんぼの本)新潮社.
- 平山郁夫・石澤良昭・松本栄一. 1992. 『アンコール・ワットへの旅』(講談社カルチャーブックス)講談社.
- 安田治樹・大村次郷. 1996. 『図説 ブッダ』(ふくろうの本)河出書房新社.